

2015.12.24

甲状腺髄様癌治療薬「カブレルサ®錠 100mg」新発売

2015.12.24

ジェンザイム・ジャパン株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:パスカル・リゴディ、以下、ジェンザイム)は、本日、「根治切除不能な甲状腺髄様癌」を効能・効果とした、「カブレルサ®錠 100mg」(一般名:バンデタニブ、以下カブレルサ®)を発売しましたのでお知らせします。

カブレルサ®は、血管内皮増殖因子受容体 2(VEGFR-2)、上皮増殖因子受容体(EGFR)及び Rearranged during transfection(RET)の各チロシンキナーゼを標的とする、1日1回経口投与のマルチキナーゼ阻害薬です。主として VEGFR-2 チロシンキナーゼを介した血管内皮細胞の増殖、遊走、生存等の血管新生に関わる反応を抑制し、間接的に腫瘍増殖を抑制するとともに、EGFR や RET のチロシンキナーゼを介する腫瘍細胞の増殖を直接的に抑制することで、甲状腺髄様癌の病態進行を遅らせることが期待できます。

カブレルサ®は、2015年7月27日付で締結された、アストラゼネカ PLC(本社:英国ロンドン)とジェンザイム・コーポレーション(本社:米国マサチューセッツ州)のグローバル規模の契約に基づき、本邦においてもジェンザイムが流通・販売を行います。なお、本薬は2013年12月に厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受けています。

ジェンザイムは「ひとつでも多くの笑顔のために、希少疾患に向き合うみなさまへ新たな希望を届け続けます」というミッションのもと、甲状腺髄様癌の患者さんにとって新たな治療選択肢となるカブレルサ®を提供することで、日本の患者さんとそのご家族や医療関係者へ更なる貢献をしてまいります。

以上

カブレルサ®の製品概要

製品名	カブレルサ®錠 100mg
一般名	バンデタニブ
効能・効果	根治切除不能な甲状腺髄様癌
用法・用量	通常、成人にはバンデタニブとして1回300mgを1日1回、経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
製造販売承認日	2015年9月28日
薬価	7,836.40円
薬価収載日	2015年11月26日
発売日	2015年12月24日
製造販売元	アストラゼネカ株式会社
販売元	ジェンザイム・ジャパン株式会社

ジェンザイム・ジャパンについて

ジェンザイム・ジャパン株式会社は、ジェンザイム・コーポレーションの日本法人として1987年に設立されました。「ひとつでも多くの笑顔のために、希少疾患に向き合うみなさまへ新たな希望を届けつづけます」というミッションのもと、海外バイオ企業の日本法人としては初めて、他社と提携することなく自社単独で医療用医薬品の開発・販売に成功しました。

現在、希少疾患であるライソゾーム病のうち、「ゴーシェ病」「ファブリー病」「ムコ多糖症Ⅰ型」「ムコ多糖症Ⅱ型」「糖原病Ⅱ型(ポンペ病)」に対する6つの治療薬と内分泌領域の2製品、併せて8つの希少疾病用医薬品を

販売しています。2011年からはサノフィ・グループの一員となり、2016年1月からはサノフィのスペシャルティケアグローバルビジネスユニット「サノフィジェンザイム」として活動を開始し、患者さんの生活を向上させることにコミットしています。同ビジネスユニットは、サノフィの希少疾患領域、オンコロジー領域と免疫領域で構成され、パスカル・リゴディが統括します。